

関根・松塚老人クラブ



建て替え予定の集会所にて。再会にお茶で乾杯！

避難前に行われていた「ミニデイ（ミニ・デイサービス）」を行政区の集会所で震災後初めて開きました。会の中では、村包括支援センター職員の講話や高橋区長による現状報告があり、参加者も近況を報告。帰る決意と帰れない苦悩とが、それぞれの言葉で語られました。笑顔あり、涙あり。「村の人はいいもんだ。顔見られてうれしかった」そんな言葉もありました。

8/2

戻る人も戻らない人も住民です。まずは自身の健康に気をつけてほしいです

どのように決めても気を使う必要はない。声を掛け合いまたここで会いましょう

高橋文男区長
(関根・松塚)

菅野益夫さん
(関根・松塚)



久しぶりの懐かしさ。言葉を交わすひとときをしみじみとかみしめます

8/21

飯館村役場消防隊



団地内の公園では、実際の手順を確認しながら、隊員が連携して放水訓練も行いました

今年度の新採用職員を含む役場消防隊員9人が、南相馬消防署飯館分署と共同で消防訓練を行いました。訓練は村営住宅「大谷地団地」で行われ、小型ポンプのエンジンの始動方法などを一人ひとりが確認。いざという時、的確に行動できるよう、皆気を引き締めて訓練に臨んでいました。

7/11

飯館村女性消防隊



太陽光発電を活用した農業体験施設の「南相馬ソーラー・アグリパーク」も見学

村女性消防隊が視察研修のため「南相馬市・防災センター」と「南相馬ソーラー・アグリパーク」を訪れました。今年3月に完成した最新鋭の災害活動拠点である防災センターでは、建物内の高機能消防指令施設で、相馬地方管内の119番通報の受信と出動指令、車両の運行状況管理などを行うシステムを見学し見聞を広めました。

つながるアルバム

8/21

しあわせカフェわたり



三瓶重子さん
(宮内)

顔が見られてうれしかった。会う時はうれしくて離れる時は涙。皆が同じ気持ちだと思います

懐かしい知人との再会。語り合う皆さんの顔が輝いていました



「また会えるといいね」手を握り再会を願って帰路のバスへ
福島市渡利地区を中心に、借り上げ住宅に入居する皆さんが、2か月に1度集まる「しあわせカフェわたり」。今回は、相馬大野台応急仮設住宅をバスで訪問して、暮らしや現状について聞き、住民の皆さんと交流しました。交流の時間には住民の皆さんが次々と顔を見せ、懐かしい人同士が近況を報告し合い、互いの苦労を気遣っていました。

7/30

伊達東応急仮設住宅



支援者と住民が交流する屋台。「支援に何とかお返ししたい」という村民の声も聞かれました

「福島きずな連」の阿波踊り。流し踊りで盛り上がりは最高潮に



仮設住宅に隣接する伊達東地区交流館駐車場にて、伊達市に避難する村民のための夏祭りが、伊達市社会福祉協議会の主催で開かれました。このイベントには、同社協をはじめ日赤福島県支部や村社協の職員、県立保原高校の生徒など約80人のスタッフが協力。前日から準備された屋台は盛況で、仮設住宅の住民も手作りのおこわを振る舞いました。

